

サステナビリティ経営の高度化に向けた取組

リスクマネジメント

気候変動への対応の不備等は、経営に重要な影響を与えるリスクであると認識し、シナリオ分析による影響分析や当該リスクにかかる取組方針の策定等を実施しています。また、投融資に際しては、特定のセクターや事業に対しての取組方針を定めており、進捗状況のモニタリングに取り組んでいます。

環境・社会に配慮した投融資方針

<https://www.dbj.jp/sustainability/effort/resolution/investment.html>

環境・社会に対して重大なリスクまたは負の影響を内包する可能性が高い事業や特定セクターへのファイナンスについて、2021年に投融資活動の取組方針を定め、以降必要に応じた見直しを実施しています。

赤道原則に基づく運用

https://www.dbj.jp/sustainability/collaboration/initiative/equator_principles.html

大規模プロジェクト等の環境・社会リスクについて、「環境社会評価室」主導のもと、2020年に採択した「赤道原則(Equator Principles)」に基づく環境・社会リスクの特定、評価、管理を行っています。

ポセイドン原則に基づく運用

<https://www.poseidonprinciples.org/finance/wp-content/uploads/2023/12/Poseidon-Principles-2023-Annual-Disclosure-Report.pdf>

海運業界の気候変動リスクに対する金融機関の枠組みとして設立されたポセイドン原則に2021年に署名し、船舶ファイナンスのGHG排出の削減貢献度を毎年公表するなど、気候変動リスクに配慮した投融資活動に努めています。

イニシアティブとの連携・協働

サステナビリティ経営の高度化に向けて、国内外のイニシアティブへの参画を通じた様々なステークホルダーの皆様との連携・協働を大切にしています。あわせて、役職員が委員を務める各種の政策検討会・勉強会を通じて、国内外に向けて情報を発信し、政策立案に貢献しています。



サステナビリティ経営を支える人材育成

グループ内の知見を結集し、サステナビリティに関するナレッジを取りまとめた「GRIT/サステナビリティポータル」をイントラネット上に設置して、変化の速いサステナビリティにまつわる最新情報をアップデートし、タイムリーに共有しています。

また、サステナビリティに関するメディアラーニングアプリを全役職員に配信しているほか、年間を通して、様々な研修・説明会や対象者を絞った個別ワークショップを実施するなど、グループ全体でサステナビリティ人材の育成に力を入れています。

